

## 4 メンテナンス

「ノーブルライト」は高い耐熱性、耐衝撃性、耐久性を備え、均質、無孔質素材ですから、剥離、汚れの染み込みの心配もなく、極めて簡単なお手入れで、長く美しさを保つことができます。

### 4-1 日常の手入れ

普通の汚れは、スポンジや布巾での水拭き、または台所用中性洗剤をつけて拭き取ってください。

万一、タバコの焼け焦げ、調味料等の頑固な汚れがついた場合には、エタノール、ナイロンタワシ、スコッチブライトまたはスポンジにクレンザーをつけて拭き取ってください。

表面にキズがついた場合には、サンドペーパー（＃180～＃400）またはナイロンタワシ、スコッチブライトで除去してください。光沢面の修正方法は2-5項の仕上げ方法を参照ください。

### 4-2 使用時のお願い

熱い鍋を直接置きますと、修正が難しい損傷を受ける場合があります。必ず鍋敷をご使用ください。

まな板がわりに使いますと包丁でキズがつきますので、このような使用は避けてください。

過度の衝撃や荷重を加えないでください。

金属タワシ等で表面を擦らないでください。

以上の点に注意していただければ、当初の美しさを保つことができます。

### 4-3 カケ、クラックの補修

#### (1) カケの補修例

- ①カケた部分を完全なかたちで回収してください。
- ②接着面をエタノールで綺麗に拭いた後、「ノーブルライト」用ボンドで接着してください。
- ③接着時、接着剤が接着面全周に溢れ出ていることを確かめてください。
- ④接着剤が硬化後、余分な接着剤を除去し、面取りおよび研磨仕上げをしてください。



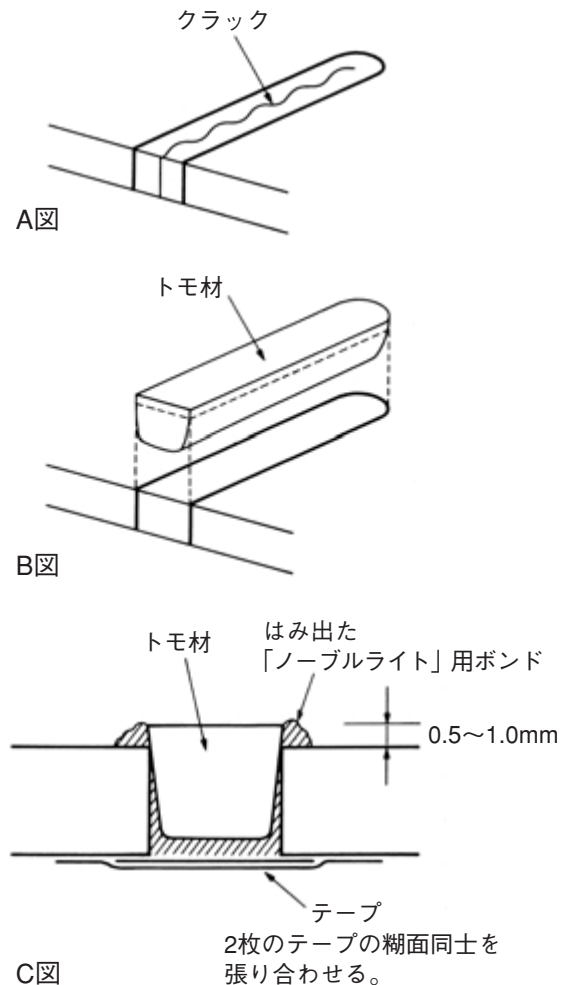
## (2) クラックの補修例

衝撃、過度の熱や外力の繰り返しが板に加わるとクラックが入ることがあります。先ずその原因を取り除いてください。

トモ材による埋め込み法

〈例1〉

- ① 損傷部分はその形状に応じ、丸い穴やコーナーを丸くした形状に取り除きます(A図)
- ② 切り抜きなどから、色の合った「ノーブルライト」の端材を使い、トモ材を作成します。
- ③ 切り抜いた形状に合わせて、トモ材を作成します。  
この時、トモ材の大きさは取り除いた形状の大きさより1~1.5mm大きくしてください。(B図)
- ④ 補修部分の裏側は、接着剤が流れないようにテープを貼ります。この時テープの糊面が接着剤に触れないようC図のように貼ってください。
- ⑤ 「ノーブルライト」用ボンドを注入し、トモ材を埋め込みます。  
この時、接着剤がトモ材の全周に溢れ出ていることを確認してください。(C図)
- ⑥ 接着剤が十分に硬化してから、トモ材のはみ出ている部分と接着剤の盛り上がった部分をベルトサンダーやトリマーで削り落とし通常の方法で仕上げます。



〈例2〉

- ① クラックの部分を下地材を残して、ルーターでスムーズに取り除いてください。
- ② 色のあった同じ板厚のトモ材で、埋め込み部材を作ってください。
- ③ 接着面をエタノールで綺麗に拭いた後、「ノーブルライト」用ボンドで接着してください。
- ④ 接着時、接着剤が接着面全周に溢れ出ていることを確かめてください。
- ⑤ 接着剤が硬化後、余分な接着剤を除去し、面取りおよび研磨仕上げをしてください。

